

## 文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第54回）議事概要

開催日及び場所	令和3年7月7日（金） 文部科学省会計課会議室及びリモートオンライン会議	
出席委員 (敬称略)	<p>○委員長 有川 博（日本大学客員教授）</p> <p>○委員 大谷 益世（公認会計士） 楠 茂樹（上智大学教授） 清水 光（弁護士） 松浦 亨（北海道大学病院客員診療教授）</p>	
審議対象期間	第4四半期（令和3年1月1日～3月31日）	
個別審査案件	8件	<p>○議事</p> <p>(1) 令和2年度第4四半期に締結した契約の概要</p> <p>(2) 個別審査対象案件</p> <p>(3) その他</p>
一般競争入札方式	6件	
最低価格方式	4件	
最高価格方式	0件	
総合評価方式	2件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	2件	
企画競争	2件	
公 募	0件	
競争性のない随意契約	0件	
不落随意契約	0件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	審議の過程で検討や見直しをしていただきたいと申し上げた点については適切に対応をお願いすることとし、全体としては問題なく処理されている。	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>個別審査案件について（以下、審査順）</p> <p>①令和3年度教科書給与用紙袋の配送業務 一式」</p> <p style="text-align: center;"><b>【一般競争（最低価格落札方式）】</b> (大臣官房会計課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者間の見積額に差があるが要因は何か。</li> <li>・早期に調達予定情報を公表し、受注可能と思われる業者に公平に情報発信し、競争環境を整える工夫をしていただきたい。</li> </ul> <p>②「文部科学省関係機関監査担当者（脆弱性診断等）研修実施業務 一式」</p> <p style="text-align: center;"><b>【一般競争（最低価格落札方式）】</b> (大臣官房会計課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札説明書受領者や入札説明会参加者のみならず、把握する参入可能と思われる業者へヒアリングするなど、一者応札の原因分析を徹底すべき。</li> </ul> <p>③「学校施設等の被害情報収集の迅速化・効率化に係る実証調査業務」</p> <p style="text-align: center;"><b>【一般競争（総合評価落札方式）】</b> (文教施設企画部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一者応札の原因分析が不十分であり、問題意識をもった取組がなされていないので、文教施設企画部内で情報共有し取組んでいただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落札者は教科書配送網を利用でき、運送費が安いことが要因である。</li> <li>・承知した。</li> <li>・承知した。</li> <li>・承知した。また、年度途中から発生した案件のため、調達予定情報を公表していなかったことも要因であると分析している。</li> </ul>

<p>・技術提案書の採点について、全く加点していない委員がいるが、業者の質は確保されているか。また、評価項目の「人的ネットワーク」についてどのように考えているか。コネがある業者やインサイダーが有利にならないか。</p> <p>④「全国的な普及啓発の実施」  <b>【随意契約（企画競争方式）】</b>  （総合教育政策局）</p> <p>・一者応札となった理由は何と分析しているのか。</p> <p>⑤「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業（多様な通信環境に関する実証（諸外国における教育の情報化に係る教育行財政状況調査研究）」  <b>【一般競争（総合評価落札方式）】</b>  （初等中等教育局）</p> <p>・声がけをする業者をどのように選んだのか。また、応札に至らなかった理由は何か。</p> <p>・一者応札となった原因分析を十分に行い、場合によっては契約方式を見直す可能性もあるので、なぜ落札者は応札することができたのかを十分分析すべき。</p> <p>⑥「文化財保存修理用資材（植物性屋根）の長期需要予測（国産良質材使用推進・供給地活性化</p>	<p>・委員によれば、最低限のものは押さえているが、追加の工夫が見られず加点はできないとのことであった。「人的ネットワーク」については、今後、ご指摘の点に十分に注意し評価項目を検討する。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症が拡大している時期だったことと、履行期間が短かったことだと考える。</p> <p>・教育の ICT 化に係る知見を持っている団体に声がけした。短期間で直近の諸外国の状況を細かく調査するのは落札者以外困難だったのではないかと考えている。</p> <p>・承知した。</p>
---	---

<p>事業)」</p> <p style="text-align: center;"><b>【随意契約（企画競争方式）】</b> (文化庁)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この事業はいつから実施しているか。落札業者は全部同じか。すべて一者応札か。</li> <li>2年間で成果を出す事業であれば、1年目に契約した者しか実質的に参加できない企画競争を繰り返すのは問題がある。2年目以降は特命随契にするなど適切な仕組みを検討すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度から令和2年度まで実施した。落札業者は同一、すべて一者応札である。</li> <li>2年目の契約について十分な準備期間の確保や競争性の確保ができないのであれば、予め初年度に2カ年を前提とした企画提案を受け、1年毎に契約を締結することとし、2年目については、1年目の事業の評価によって、契約の可否を判断し、随意契約することが適切であった。今後も実効性のある競争手続きに努める。</li> </ul>
<p>⑦「令和2年度文教施設研究講演会運営支援業務一式」</p> <p style="text-align: center;"><b>【一般競争（最低価格落札方式）】</b> (国立教育政策研究所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一者応札のアンケート提出が難しいのであれば、ヒアリングをするなど、競争環境を整えるための情報収集を工夫していただきたい。</li> <li>入札公告が遅くなった理由如何。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>承知した。引き続き説明会参加者にアンケートを依頼し必要に応じ電話等で確認する。</li> <li>対面での実施を検討していたためであるが、次回実施する場合は早期に入札公告するようスケジュール管理を徹底する。</li> </ul>
<p>⑧「テレワーク用端末導入および設定作業一式」</p> <p style="text-align: center;"><b>【一般競争（最低価格落札方式）】</b> (国立教育政策研究所)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>承知した。</li> </ul>

<p>・仕様書で端末を「Chromebook」と特定しているが問題はないか。特定するに至った検討内容は整理しておくこと。</p>	
--	--